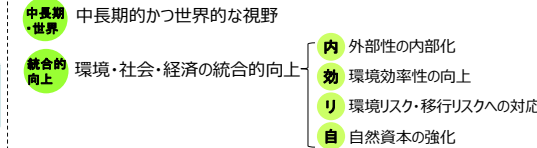


令和4年度において豊かな環境の保全及び創造に関して講じた施策(概要)

※大阪府環境基本条例第9条第1項に基づき府議会への報告事項



<施策の基本的な方向性>



<進捗状況の評価>

- 資料3-1
- ☆☆☆☆ 想定以上
 - ☆☆☆ 想定通り実施
 - ☆☆ 想定以下
 - ☆ 想定以下かつ要改善

1. 脱炭素・省エネルギー社会の構築

- 脱炭素化に向けた消費行動促進事業【新規】(5,698千円)
 - ・大阪府内産食材を対象とした大阪版カーボンプリント算定手法と算定結果のラベリング方法を検討し、府内で開催されたイベントや実証店舗等で農作物のGHG排出量を算定・ラベリングし、普及啓発等を実施
- 環境配慮消費行動促進に向けた脱炭素ポイント付与制度調査検討事業【新規】(13,969千円)
 - ・小売事業者等が運用している既存ポイントシステムを活用し、CO₂排出が少ない商品を購入した消費者に脱炭素ポイントを上乗せ付与する実証事業及び効果検証を実施
 - ・脱炭素ポイント制度推進プラットフォームを設置し、会議を開催
- 中小事業者LED導入促進事業【新規】(681,985千円)
 - ・中小事業者が既存の照明設備をLED照明へ更新するための設備費及び付帯工事費等に要する費用の一部補助を実施
- おおさかスマートエネルギーセンターの運営(3,550千円)
 - ・創エネ・蓄エネ・省エネに関する府民・事業者等からの相談へのワンストップ対応を実施
 - ・家庭向けにZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)、共同購入による太陽光発電及び蓄電池システムの普及拡大などを実施
 - ・事業者向けに省エネセミナー、省エネコストカットまるごとサポート事業などを実施
- 万博を契機としたバス事業者の脱炭素化促進事業【新規】(265,028千円)
 - ・府内を運行しているバス事業者等が電気バスを導入する費用の一部補助を実施
- 充電インフラ拡充事業【新規】(17,961千円)
 - ・府内の集客施設等に府民等が利用できる充電設備の設置費用の一部補助を実施
- カーボンニュートラル技術開発・実証事業【新規】(282,296千円)
 - ・2025年大阪・関西万博でのカーボンニュートラルに資する最先端技術の披露を目指し、試作設計や開発・実証を行う経費の一部補助を実施

2. 資源循環型社会の構築

- 食品ロス削減対策の推進【一部新規】(7,409千円)
 - ・小売店舗をフィールドにした効果的な食品ロス削減策を検討し、モデル店舗において試行的な実証等を実施(新規)
 - ・食品ロス削減ボランティア「もったいないやん活動隊」養成講座を開催
 - ・ネットワーク懇話会等を設置し、行動変容を促す食品ロス削減のための具体的な取組みを展開
- おおさかプラスチックごみゼロ宣言推進事業(3,049千円)
 - ・海洋プラスチックごみ問題解決に向け、幅広い関係者がプラットフォーム等において、具体的な対策の検討、実証事業及び効果検証等を行い、成果を広く共有・発信
- 使い捨てプラスチックごみ対策推進事業【一部新規】(3,708千円)
 - ・マイ容器やマイボトルが利用できる店舗やサービス内容を検索できるウェブサイト「Osakaほかさんマップ」を運用し、府民がマイ容器体験をSNSに「#マイ容器ええやん」を付けて投稿するキャンペーンを実施(新規)
 - ・府民の行動変容を促進するため、市町村や事業者等と連携して周知・啓発を実施
- PCB廃棄物等適正処理の推進(231,767千円)
 - ・PCB廃棄物処理対策基金に拠出し、中小企業者等の高濃度PCB廃棄物の適正処理を支援
 - ・国が定める処理期間内に適正処理が確実に行われるよう保有事業者への指導を強力に実施

3. 全てのいのちが共生する社会の構築

- 生物多様性保全のための普及啓発の推進(1,617千円)
 - ・生物多様性関連施設と連携し、府民理解の促進に向けた生物多様性の普及啓発を実施
 - ・特定外来生物の防除等に関する情報の発信、研修会の開催
- 共生の森づくり活動の推進(4,860千円)
 - ・堺第7-3区産業廃棄物最終処分場の一部において、府民や企業等と連携し、森づくり活動と自然環境学習を実施

4. 健康で安心して暮らせる社会の構築

- 豊かな大阪湾の創出に向けた取組みの推進(1,215千円)
 - ・「第9次総量削減計画」及び「瀬戸内海の環境の保全に関する大阪府計画」の一体的な計画である、「豊かな大阪湾」保全・再生・創出プランを策定
 - ・湾奥部に設置している環境改善モデル設備のモニタリングを実施
 - ・大阪湾魅力スポットを巡るウォーキングイベントの実施
- 海岸漂着物等対策事業(26,333千円)
 - ・大阪湾に流入するプラスチックごみ量のAIを活用した推計手法を確立し、2021年度値の推計を実施
 - ・大阪湾に流入するプラスチックごみ等の実態把握のため、漂流ごみ等の組成調査を実施
 - ・漁業者と連携した海底ごみ及び漂流ごみの回収・処分
 - ・市町村への海岸漂着物等の回収や発生抑制の啓発に要する費用の補助
- 微小粒子状物質(PM2.5)の現状把握と的確な注意喚起の実施(14,848千円)
 - ・自動測定機による連続測定等を実施するとともに、濃度が高くなると予測される場合に防災情報メール等により注意喚起を行う体制を整備

5. 魅力と活力ある快適な地域づくりの推進

- 環境データ「見る」「知る」「活かす」推進事業(1,000千円)
 - ・環境への理解を促進し、暮らしの中での具体的な行動につながるよう、ハルカス大学(※)において、環境データ活用イベントを実施 ※あべのハルカスに入居している大学と企業がつながってできた学びのプロジェクト
- 森林環境譲与税を活用した市町村の森林整備・木材利用に対する技術的支援等【一部新規】(111,953千円)
 - ・市町村に対し、森林整備に関する技術的支援や木材利用を実施するために必要な情報提供、助言・指導
 - ・府内産木材(国産木材の一部利用も可)を活用した府有施設の内装木質化といったモデル事例を提示
- 都市緑化を活用した猛暑対策事業(308,708千円)
 - ・多くの人々が屋外で暑くても待たざるを得ないバス停等のある駅前広場などにおいて、暑熱環境の改善を図るため、森林環境税を活用し、市町村などが行う緑化及び暑熱環境改善設備の設置に対し助成
- 「みどりの風を感じる大都市・大阪」の推進(12,318千円)
 - ・地域の緑化活動団体等が行う緑化活動に対し緑化樹の配付または助成を行うことで、府民が「みどりづくり」をはじめめる機会をつくるとともに、みどりづくりを通じた地域交流を促進